

# 1/48 MESSERSCHMITT Bf 110D

1/48 スケールシリーズ No.28

ドイツ空軍戦闘爆撃機 Bf 110D-1/R1 & D-2, D-3



## 《メッサーシュミット Bf 110D》

1936年5月12日、メッサーシュミット(当時はまだバイエリッシュ航空機製造会社、略してBFW社と呼ばれていた。)のテストパイロット、ルドルフ・オピッツの操縦で初飛行したこの双発機は長距離爆撃を主力とした大侵攻部隊の護衛戦闘機として開発された。開発当時ヨーロッパ各国では一斉に長距離戦闘機の開発をやっていたが、ドイツでは(Kampf-Zerstörer カンプ・ツェルシュテラー) 爆撃/駆逐戦闘機として実現の運びになった。この機は結局BFW社に決定されドイツ空軍の大きな期待を元に空の駆逐艦として最優先的に開発を押し進められBf 110として正式採用となった。1939年9月1日ポーランド侵攻作戦に初めて姿を見せたBf 110は(この時はC型で参加していた。)まずまずの戦果をあげたが1940年のバトルオブブリテンでは戦闘機であるはずのBf 110がBf 109に護衛される羽目になりまったく役に立たない戦闘機としての落印を押されてしまった。D型はC型を一部改良して長距離戦闘爆撃機としたもので胴体下に1200ℓの燃料タンクを装備して1940

年出現したD-1/R1型とD-1/R2、重戦闘爆撃機として翼下に900ℓ落下タンク、胴体下に500kg爆弾を懸架したD-2型と熱帯型D-2/Trop、また主翼下に900ℓタンクと胴体下にETC 500kg爆弾を懸架できるようにしたD-3型などがあります。D型は主に長距離用と偵察用にしたもので北アフリカ、地中海ではI/ZG 76、及びZG 26の2連隊が活躍したにすぎなかった。D型による戦歴の中でノルウェー侵攻作戦の時、D-1/R1で出撃した第5航空軍のI/ZG 76は英空軍のスピットファイア、ブレナムなどに迎撃されHe 111は65機のうち8機を失ないBf 110は34機のうち7機が撃墜され第5航空軍としては2度と攻撃が出来ないような状態に陥り最悪の作戦になってしまった。この後、E型、F型、G型と進んでいくがG型から本格的な夜間用になり各種レーダー及び武装バリエーションが多く30ミリや37ミリ砲を装備したのもありバトルオブブリテン以来再度夜間戦闘機として第一線に現われるようになった。

## Bf 110Dの塗装について

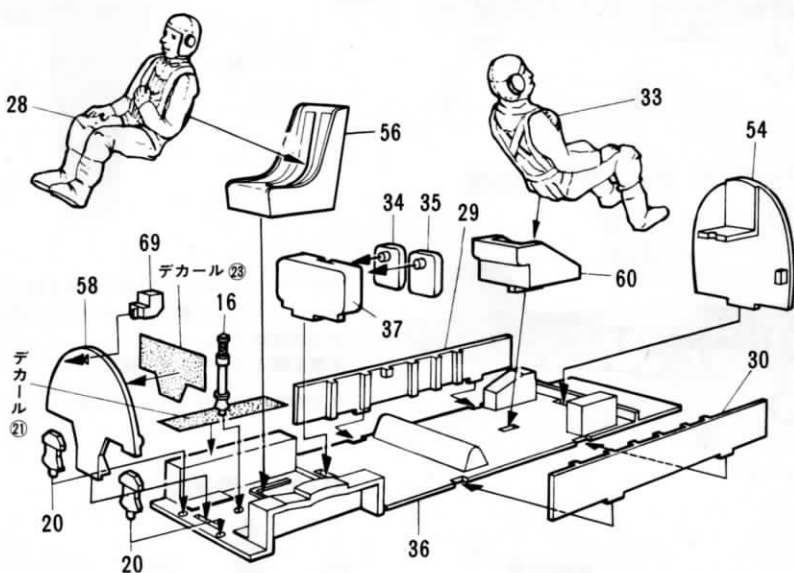
一般的に機体側面の塗装はライトブルーの地にダークグリーンのはん点迷彩があるいはダークグリーンとブラックグリーンのスプリンター迷彩のどちらかによります。D型の場合グレーによる塗装は少ないようです。主翼上面はダークグリーンとブラックグリーンによる折線分割があるいはグレー74とグレー75による折線分割があります。D-/R1の塗装は写真が非常に少く不明確な点も多いようです。又、ハチのマークが付いたD型もありますがこれはロシア戦線で使用された機体のようです。サメの付いたD-3型も写真が不明確なようでコードナンバーも不明です。1941年にイラク空軍が使用した機体もあります。

# 1 コクピット

〈パイロット & 射手〉

- 人形は塗装してから取付けて下さい。
- 計器板を塗装した後デカールが付きます。

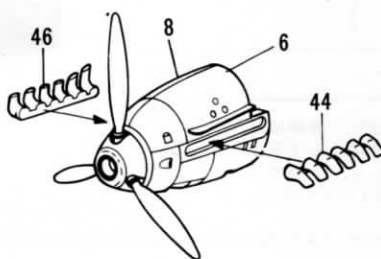
- 側板29、30 — RLMグレー①
- 計器板58 — 黒②
- フットペダル20 — 銀③
- 床板36 — 黒・照準器 — 銀④
- 操縦桿16 — 銀⑤
- 通信器34、35、37 — 黒⑥
- シート56 — グレー⑦
- 後部シート60 — グレー⑧
- 後板54 — 黒⑨



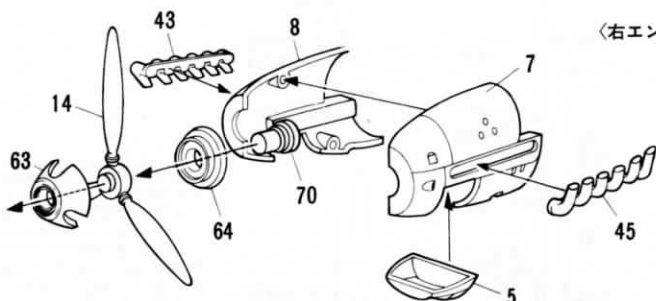
# 2 ナセル

- プロペラ部は回転するようにします。  
シャフト70を左右のナセル6、7ではさみ込みます。
- 排気管は左右注意して取付けて下さい。

- プロペラ14 — 黒⑩
- 排気管43-46 — 焼鉄色⑪



〈右エンジンナセル〉

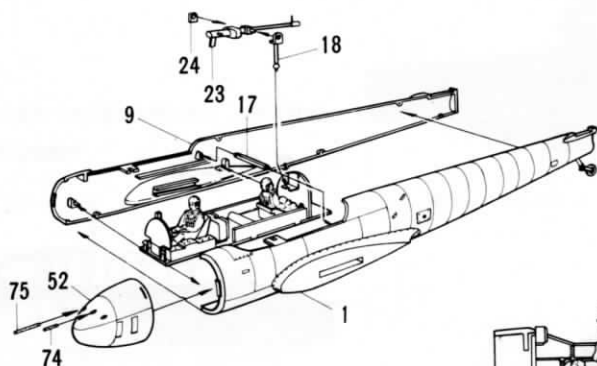


〈左エンジンナセル〉

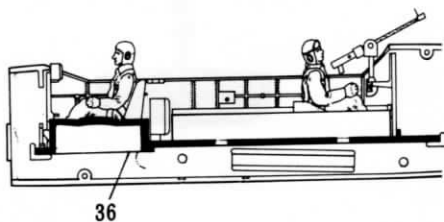
### 3 胴体

- 旋回銃は可動するようにして下さい。
- ※ 下の穴あけは胴体及び主翼を組立てる前にあけます。

- 機体内部 — RLMグレー①
- 機銃74、75、88 — 黒鉄②
- 旋回銃23 — 黒鉄②
- 銃架17、18、24 — 黒鉄②

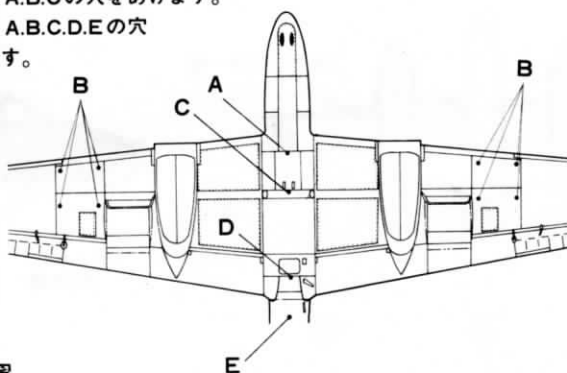


〈コクピット参考図〉



#### 〈穴あけ図〉

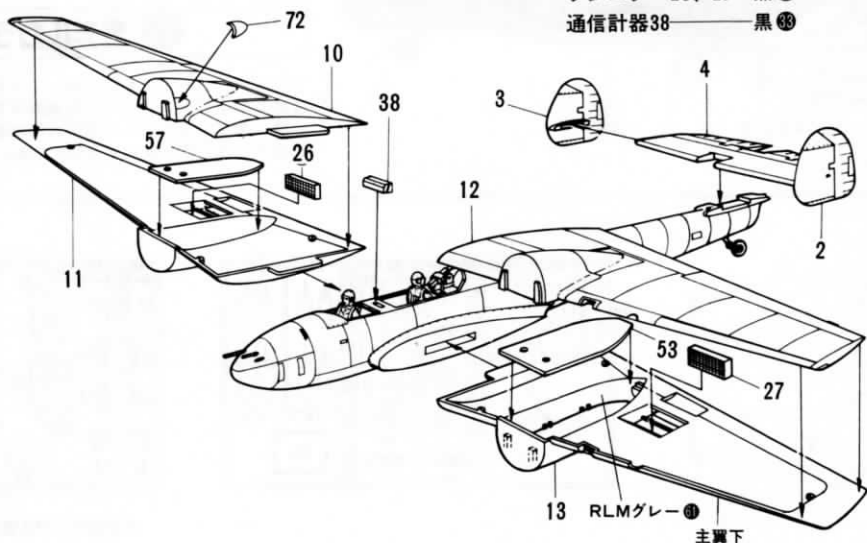
- D-1/RIの時Eの穴をあけます。
- D-2の時A.B.Cの穴をあけます。
- D-3の時A.B.C.D.Eの穴をあけます。



### 4 胴体と主翼

- 主翼上下を組立てる前に26、27、53、57を先に取付けます。

- 脚収納部 — RLMグレー①
- 脚柱止メ板53、57 — RLMグレー①
- インテーク内部72 — 黒③
- ラジエター26、27 — 黒③
- 通信計器38 — 黒③

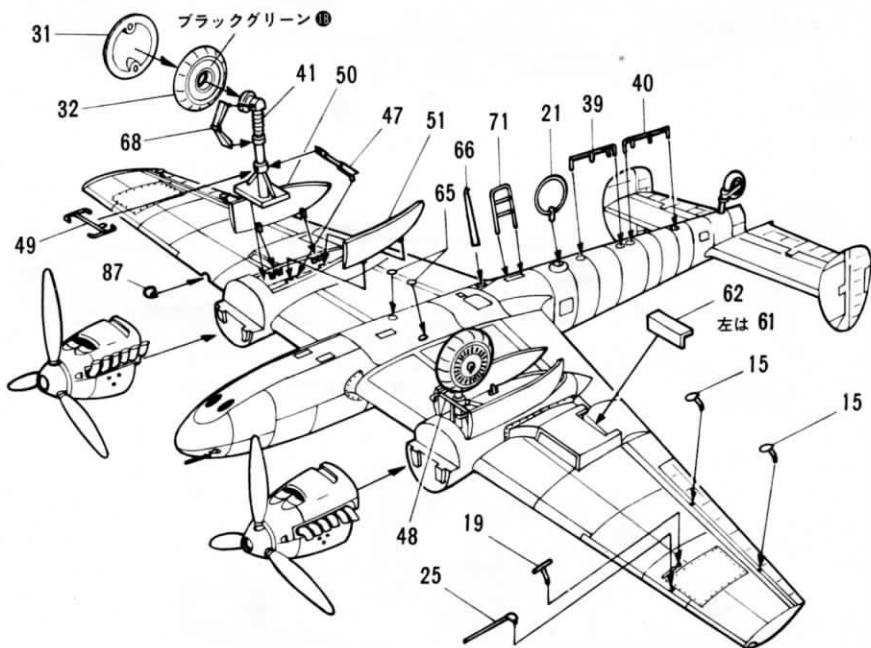
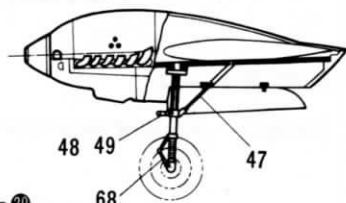


## 5 主脚

- 主脚組立は取付図を参考にして取付けて下さい。
- タイヤ31、32は外側へ傾きます。

- タイヤ31、32——黒⑧  
 主脚柱41、42——銀⑧  
 アーム48、49、68——銀⑧   パイロットヘッド19——銀⑧  
 後支柱47——銀⑧   アンテナ66——ライトブルー④  
 フラップ内部61、62——黒⑧   ループアンテナ21——ライトブルー④  
 はしご71——銀⑧   アンテナ39、40——ライトブルー④  
 ビト管25——銀⑧   脚カバー50、51——(内側)RLMグレー⑤

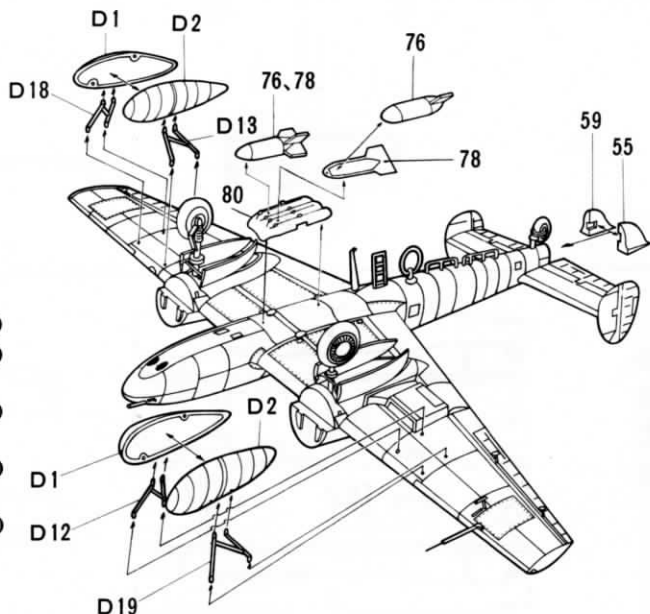
〈主脚取付図〉



## 6 D型の各バリエーション

エンジンナセルの図は省略してあります。

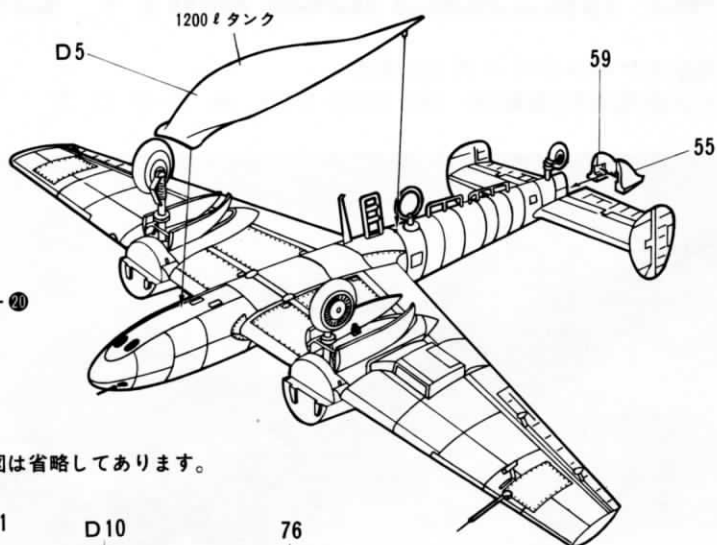
—D-2—



部品の取付穴は  
前図⑤を参照。

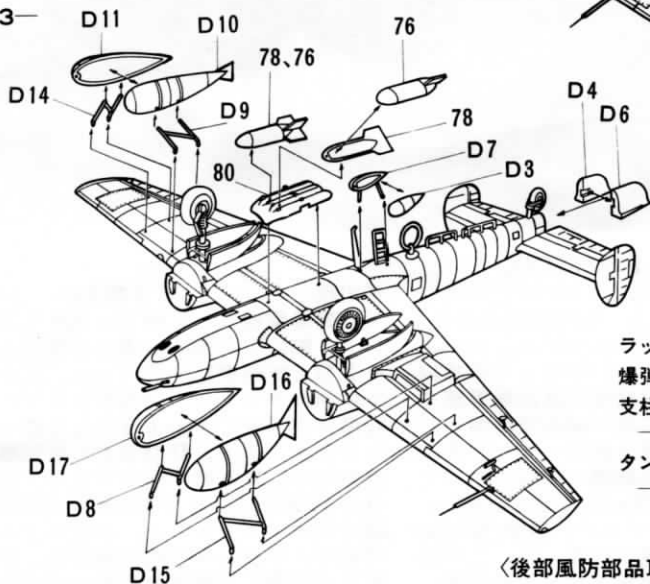
- ラック80——黒⑧  
 爆弾76、78——黒⑧  
 支柱D12、13——ライトブルー④  
 支柱D18、19——ライトブルー④  
 タンクD1、2——ライトブルー④

部品の取付穴は前  
図③を参照。



タンクD5——  
ライトブルー⑳

エンジンナセルの図は省略してあります。



部品の取付穴は  
前図③を参照。

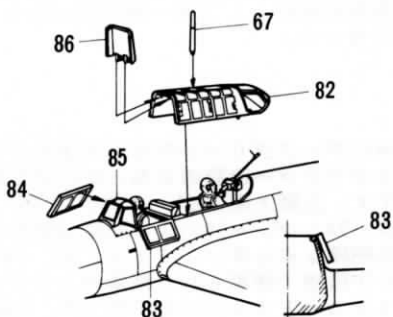
ラック80——黒㉙  
爆弾76、78——黒㉙  
支柱D8、9、14、15  
——ライトブルー⑳  
タンクD10、11、16、17  
——ライトブルー⑳

## 7 風防

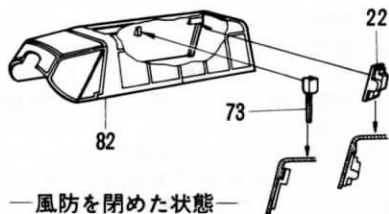
- 風防は開か閉か、どちらかを選んで下さい。
- 風防83、84はセロテープで胴体へ付けるか、あるいは接着して付けて下さい。

部品22、73——黒㉙

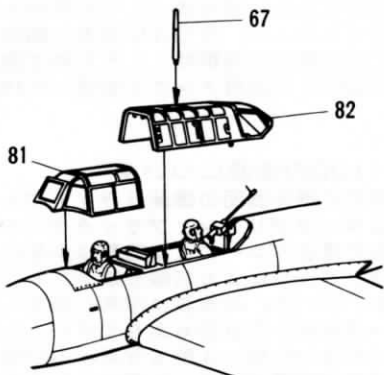
—風防を開いた状態—



〈後部風防部品取付図〉



—風防を閉めた状態—

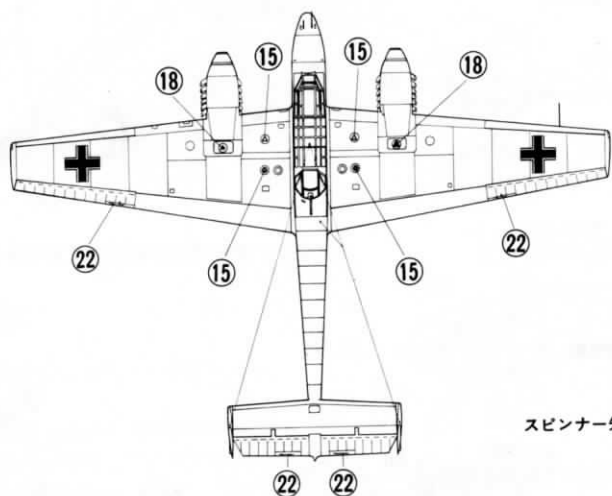
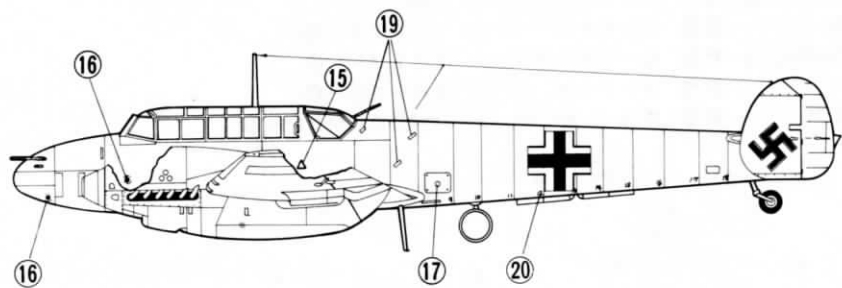


# Painting & Decals

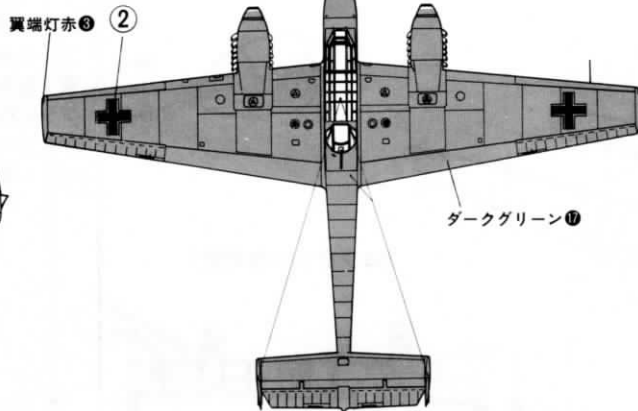
## ● 共通マーク

(共通マークは必ず付けて下さい。)

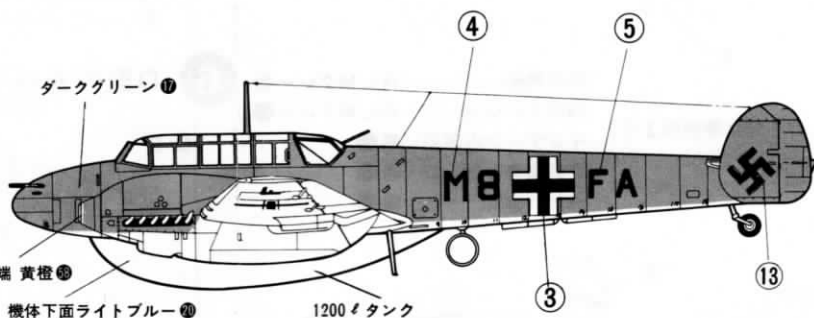
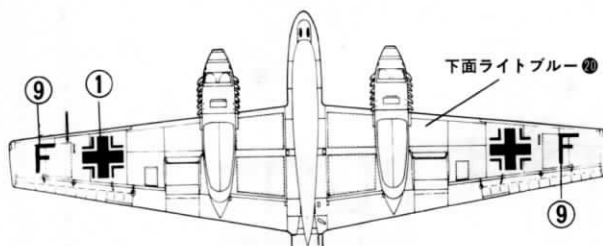
- 胴体側面のマークは左右対照です。
- ①～③の番号はスライドマークの番号です。
- ④～⑧の番号はモデルカラーの番号です。



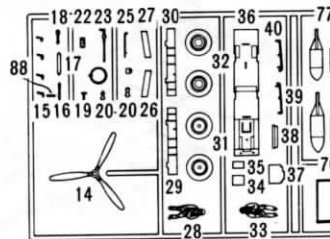
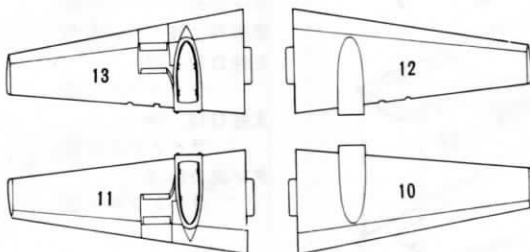
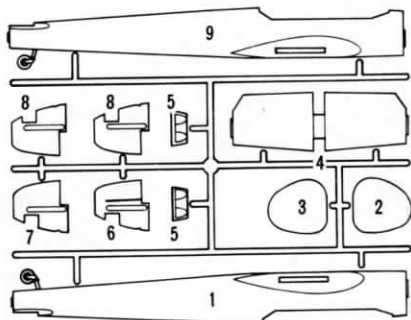
## ● D-1/R1型 “Dackelbauch”



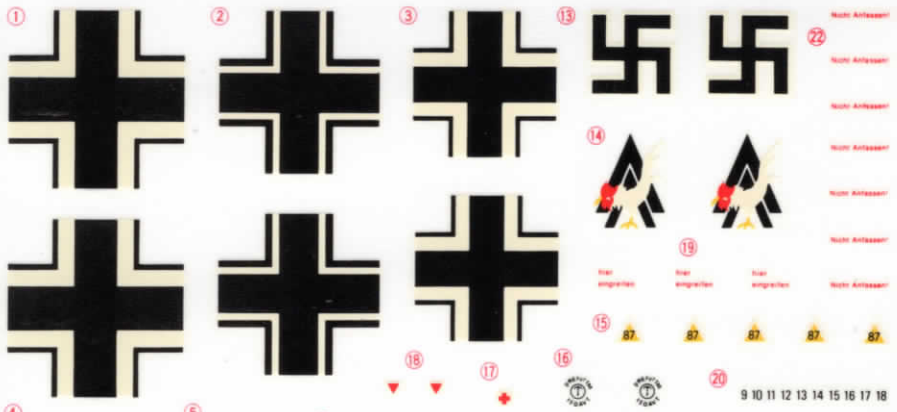
※塗装はカラー図を参照して下さい。



## 部品配置







M8 F A



9 10 11 12 13 14 15 16 17 18  
 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18  
 21

M8 F A

8 K K K K K

3U B T

9 F F B B K

3U B T

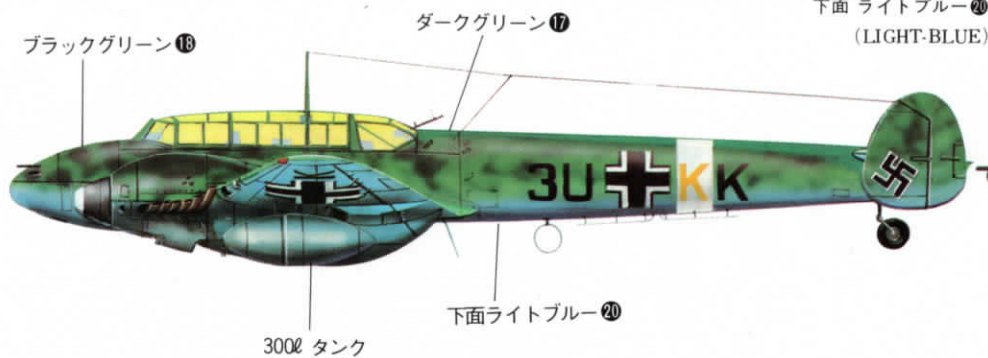


# 1/48 MESSERSCHMITT Bf 110D

D-1/ R1 "Dackelbauch"



D-2,



D-3 3/ZG26 第26戦闘航空団第3中隊

